

Teacher Teacher

にちにち勉強会

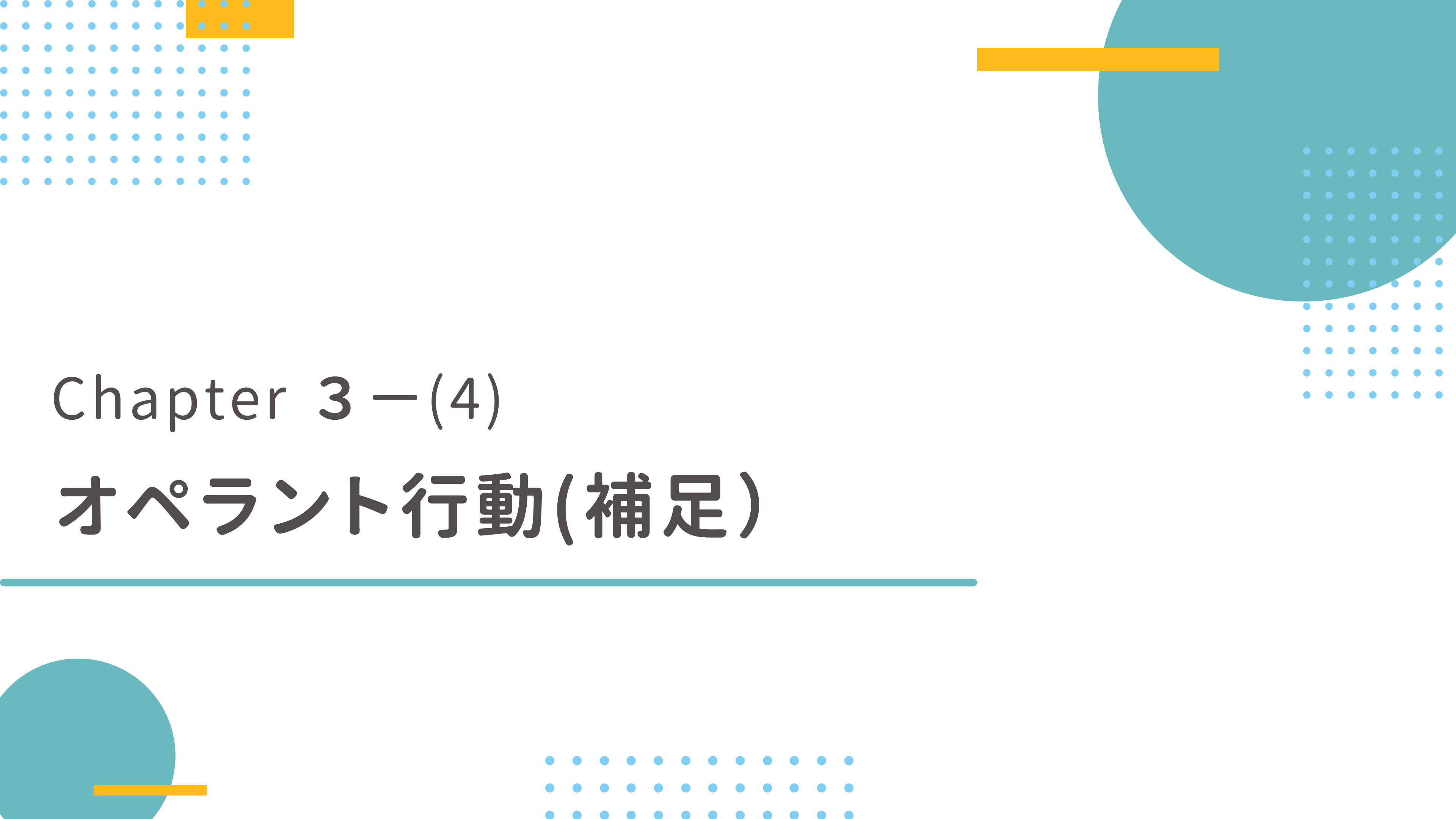
第6回



プログラム構成

1. 行動分析学とは（1コマ）
2. レスポンドेंट行動（1コマ）
3. オペラント行動（2～4コマ）
4. 生活への応用ー応用行動分析学ー（2～3コマ）

※ 1コマ20～30分



Chapter 3 —(4)

オペラント行動(補足)

今日のテーマ

行動の随伴性を理解する ～阻止の随伴性とルール支配行動～



前回の復習

1

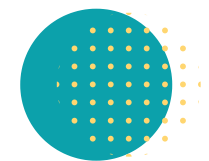
消去とは、行動の前後で環境や状況に何も変化がないことによって、その行動がやがて減ったり、弱まったりすること。

2

弱化との違いは、以前にその行動が強化されていた経験があるかどうかである。

3

消去手続きを行うと**反応のバースト**や**消去誘発性攻撃行動**が現れることがあるが、何度か繰り返すことでやがて行動は消去される。



消去

●消去とは

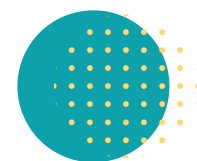
行動の前後で環境や状況に何も変化がないことによって、その行動がやがて減ったり、弱まったりすること。



前後で変化なし

消去の2つの重要なポイント

- 1 消去される以前には、その行動が強化されていたという学習歴があること
- 2 今やその行動を行っても何も良いことがない、効果がない、つまり行動の前後で何も環境や状況に変化が起こっていない



消去誘発性行動変容

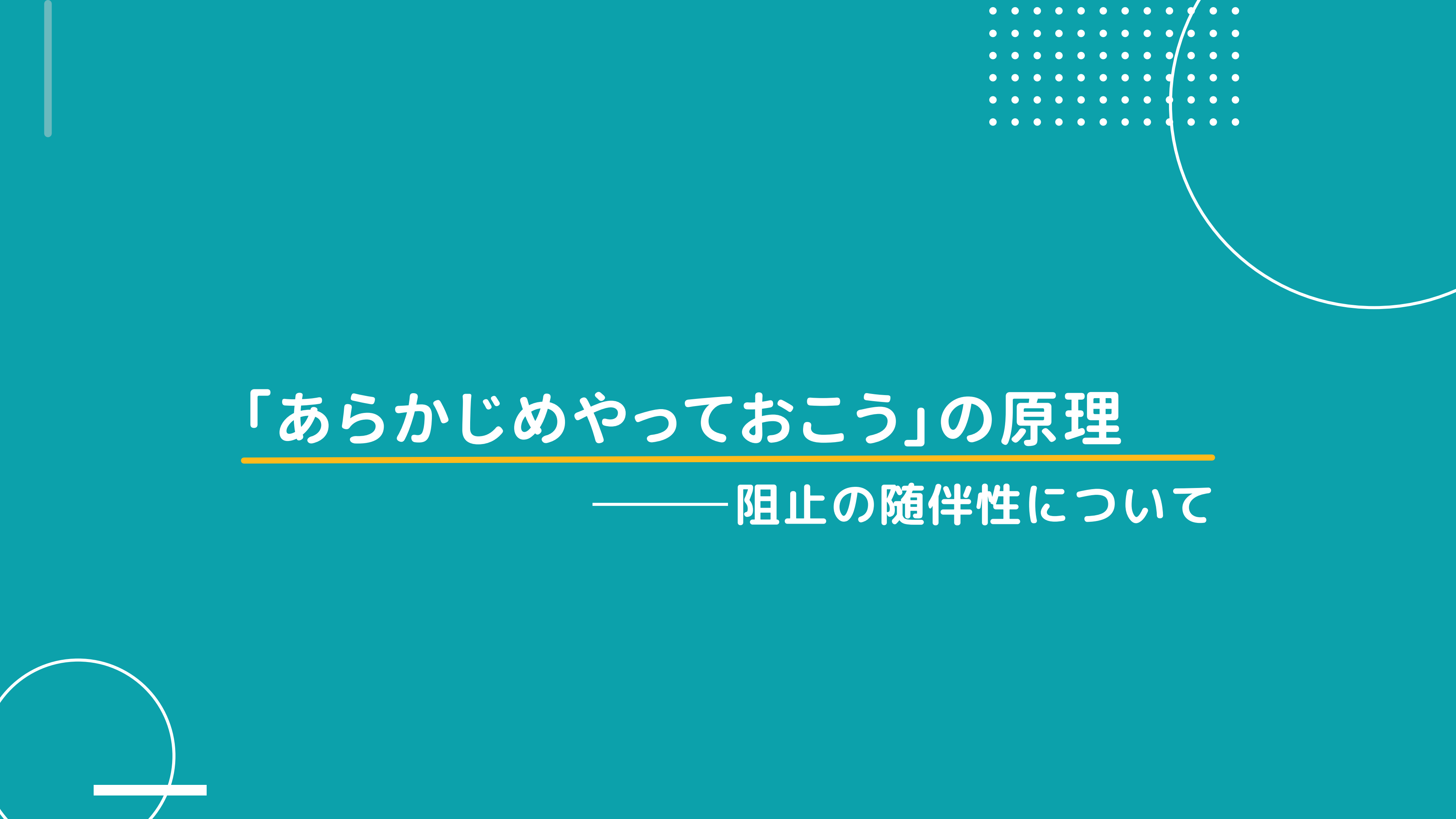
強化されていた行動が消去される時に、強化されていた行動とは違った行動が一時的に生じること。

●反応バースト

強化されていた行動が消去されると、一時的にその行動の強さや頻度が増えること。

●消去誘発性攻撃行動

行動が消去されるとき、その近くに何かがあれば、それに対する攻撃行動が生じること。



「あらかじめやっておこう」の原理

—— 阻止の随伴性について

行動の随伴性

● 反応強化子随伴性

私たちの行動（反応）と、それに伴って生じたり消失したりする好子や嫌子（強化子）との関係のこと。

● 随伴性ダイアグラム

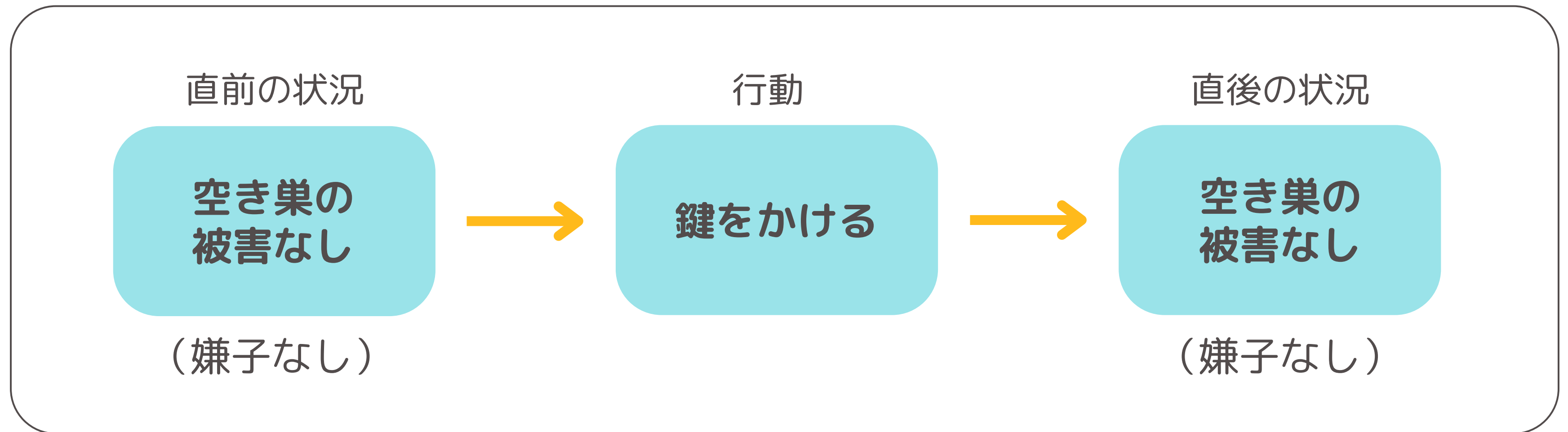


このような行動の場合はどうでしょうか・・・？

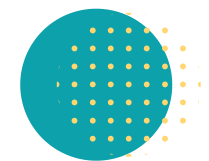
- 外出するときに玄関の鍵をかけた。
- 自転車を駅の駐輪場に置いて、自転車の鍵をかけた。
- 天気が悪そうだから、まだ十分には乾いていないけれど洗濯物を取り込んだ。
- 天気予報で今日は雨になると聞いて、折りたたみの傘をカバンに入れて外出した。
- 病気の予防接種を受けた。
- 海水浴に行くことになり、日焼け止めクリームをたくさん塗った。
- 日差しが強くなってきたので、今年も日傘を使い始めた。
- 風邪が流行し始めたので、電車に乗るときはマスクをつけるようになった。
- 学校で今度は自分がいじめの対象になるかもしれないという話を聞いた。だから本当はそうしたくなかったけれど、友だちが他のクラスメイトをいじめているのに同調してしまった。

随伴性ダイアグラムで見ると・・・

例：「外出するときに玄関の鍵をかけた。」



▶▶▶ 前後で変化なし。ということは・・・？



消去

●消去とは

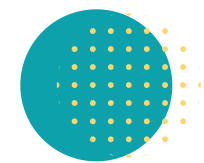
行動の前後で環境や状況に何も変化がないことによって、その行動がやがて減ったり、弱まったりすること。



前後で変化なし

行動の直後に何も変化がないけど . . .





随伴性成立の2つの側面

- ①ある行動をすることで好子出現などの変化が起こる
- ②もしもその行動をしなかったらその変化は起こらない

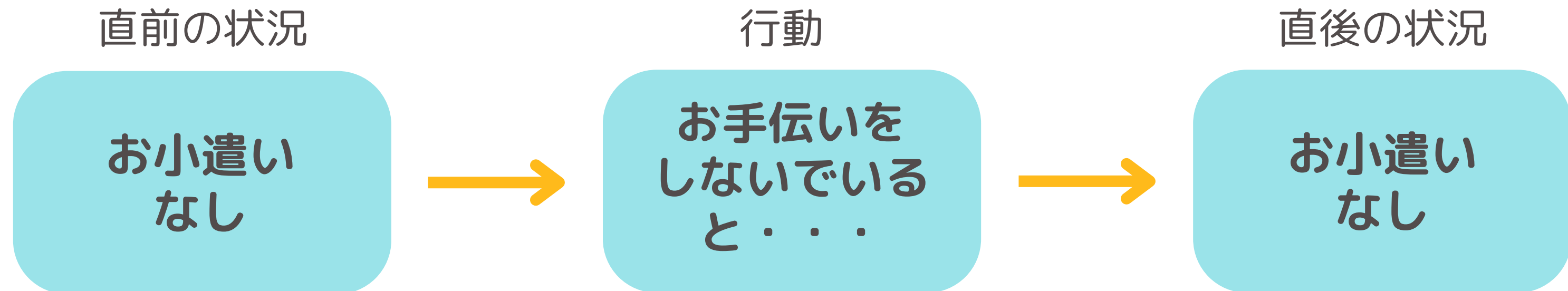


だから、その行動をすることが強化されたり
弱化されたりする

①ある行動をすることで好子出現などの変化が起こる

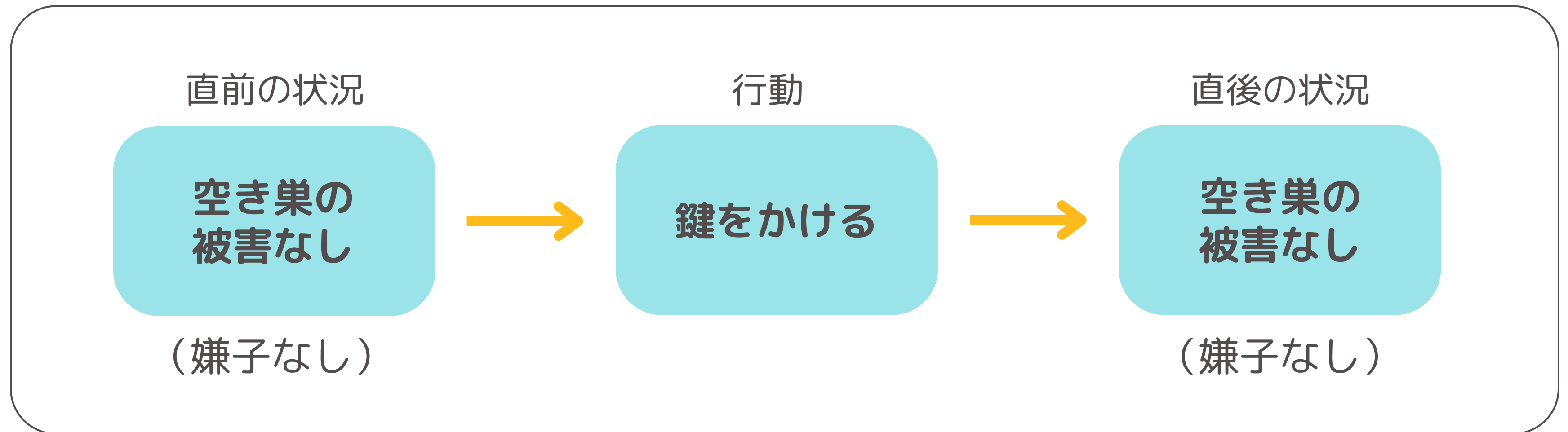


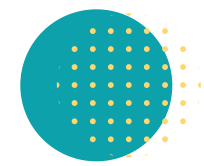
②もしもその行動をしなかったらその変化は起こらない



随伴性ダイアグラムで見ると・・・

例：「外出するときに玄関の鍵をかけた。」





阻止の随伴性とは

▶ある行動によって、将来起こるはずの出来事を防ぐ関係性のこと。

その行動をしないでいると、もしかしたら生じてしまうかもし
れない状況の変化を**阻止する**ことによって、その行動が強化さ
れたり弱化されている行動。



阻止の随伴性の4つのパターン

	強化	弱化
出現の阻止	嫌子出現の阻止による強化	好子出現の阻止による弱化
消失の阻止	好子消失の阻止による強化	嫌子消失の阻止による弱化

1 嫌子出現の阻止による強化

その行動をすることで、**将来現れるはずの嫌なこと（嫌子）**を防げるため、その行動が強化される。

事例

- ある感染症の予防接種を受けに行く（病気にかかることを防ぐ）。
- 日焼け止めクリームを塗る（ひどい日焼けを防ぐ）。
- 折りたたみ傘を持って行く（雨に濡れることを防ぐ）。
- 雨が降る前に洗濯物を取り込む（雨に濡れることを防ぐ）。
- うがいや手洗いをする（病気にかかることを防ぐ）。
- 上司に重要書類の確認作業を依頼する（客からのクレームを防ぐ）。

2 好子消失の阻止による強化

その行動をすることで、**大事なものや快適な状態（好子）が失われるのを防げるため**、その行動が強化される。

事例

- 玄関や自転車の鍵をかける（貴重品や自転車が盗まれることを防ぐ）。
- ある感染症の予防接種を受けに行く（健康状態が損なわれることを防ぐ）。
- 日焼け止めクリームを塗る（白い肌が失われることを防ぐ）。
- 返却日までに借りたものを返す（超過料金を取られることを防ぐ）。
- スキンケアをしてから眠る（よい肌が失われることを防ぐ）。

3 好子出現の阻止による弱化

その行動をすると、本来もらえるはずだった良いもの（好子）がもらえなくなるため、その行動が弱まる。

事例

- 調理中に必要以上に手を加える（おいしい料理ができあがることを妨げた）。
- 中途半端な仕事をする（ボーナスの支給を妨げた）。
- 家族で鍋を囲んでいるときに、まだ沸騰していない鍋の蓋を開けて鍋の様子をうかがう（鍋の温度が下がることで、早く鍋ができあがることを妨げた）。
- テスト前に夜遅くまでゲームをする（よい点を取ることを妨げた）。

4 嫌子消失の阻止による弱化

その行動をすると、本来なくなるはずだった嫌なこと（嫌子）が続いてしまうため、その行動が弱まる。

事例

- 親に説教をされている最中に口答えをする（説教が早く終わることを妨げた）。
- 無理にストレッチをする（痛みが消えることを妨げた）。
- 怪我のかさぶたを無理にはがす（傷口が早く治ることを妨げた）。

回避行動

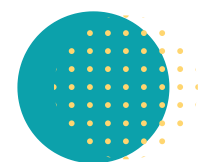
●回避行動とは

阻止の随伴性のうち、嫌子出現の阻止による強化によって形成された行動のこと。

※回避行動は消去抵抗が高い

嫌子出現の阻止によって強化される回避行動は、一度条件づけられるとその行動を消去することが難しくなる。



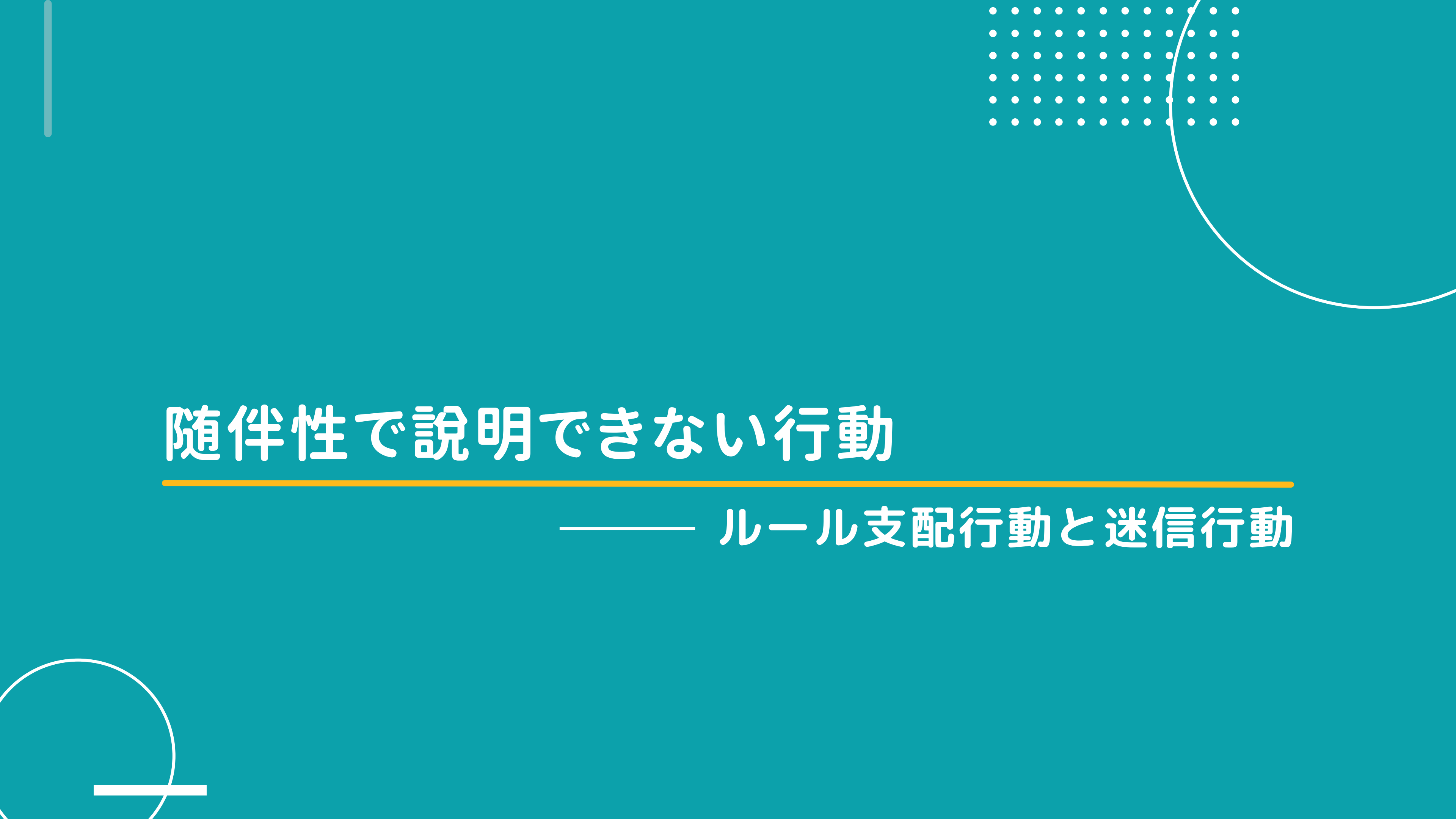


回避行動・逃避行動

●逃避との違い

「回避行動」と「逃避行動」は、どちらも**嫌子に関係する行動**だが、**タイミング**（嫌子の出現前か後か）によって区別される。

種類	定義	嫌子のタイミング
逃避行動	すでに出現している嫌子を取り除くための行動	嫌子がすでに出現している
回避行動	将来出現しそうな嫌子を未然に防ぐための行動	嫌子がまだ出現していない



随伴性で説明できない行動

—— ルール支配行動と迷信行動

ワーク

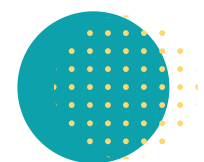
事例を見てみよう

このような行動の場合はどうでしょうか・・・？

- 毎晩残業をしてわかりやすいプレゼンテーションの資料を作り、1ヵ月後に無事に顧客との契約を交わすことができた。
- 毎日4時間アルバイトをして、1ヵ月後に給料をもらった。
- 子どもが自分の部屋を1週間きれいに片づけたら、そのごほうびに10日後に遊園地に連れて行ってもらえるという約束を親と交わし、そのとおりに実行した。
- 駅のホームで白線の内側を歩くと危険なので、白線の内側には行かず、線の外側を歩くようにしている。
- 忘れ物をすると担任の先生がポイントを減らすので、登校前にカバンの中身をチェックしている。

このような行動の場合はどうでしょうか・・・？

- 初めて訪れた見知らぬ街で、どこのレストランに入ったらいいのかがわからず、ガイドブックを調べて、そこに載っているレストランに入った。続いて、インフォメーションセンターに立ち寄り、人気の観光名所を最短時間で回ることのできるルートを教えてもらい、その情報に沿って観光した。
- パソコンを買うことになり、どのような機種がよいのかをネットで調べて評価欄を読んで、もっとも評価の高い機種を買った。
- ある資格試験の勉強のために、参考書を買うことになった。大手インターネット書店の書評欄をチェックして、その中からもっとも評価の高い参考書を3冊選んで購入した。



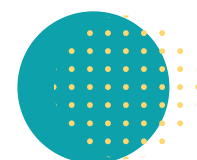
ルール支配行動とは

行動の直前や直後に状況の変化がなくてもその行動が維持されたり、これまで実際にその行動を一度もおこなったことがなくても、**行動が形成されたり維持されたりすること。**

●ルールとは

「このような状況でこう行動をするとこのような結果が伴う」
行動の随伴性を言語的に記述（タクト）したもの

= 言語を使う人間特有の行動



迷信行動とは

実際には関係のない行動と結果を結びつけてしまい、その行動が続いてしまうこと。

- 本当の因果関係はないのに、**たまたま直後に好ましい結果が起きたことで行動が強化される。**
- **偶然の一致**が、あたかも「その行動のせいで結果が出た」と思わせる

まとめ

1

阻止の随伴性とは、ある行動によって、将来起こるはずの出来事を防ぐ関係性のこと。

2

回避とは、阻止の随伴性のうち、嫌子出現の阻止による強化によって形成された行動のこと。

3

ルール支配行動とは、実際に経験していなくても、言葉や指示などの“ルール”に従って行われる行動。

プログラム構成

1. 行動分析学とは（1コマ）
2. レスポンドेंट行動（1コマ）
3. オペラント行動（2～4コマ）
4. 生活への応用ー応用行動分析学ー（2～3コマ）

※ 1コマ20～30分

次回 

応用行動分析学について

意味のある、実生活に役立つ行動変容を目的とする学問

- 環境との関係性を重視
- その人の目標や生活環境に合わせて実用的に応用
- 社会的に重要な行動に焦点

お疲れ様でした

Teacher Teacher
にちにち勉強会